

# 令和4年（2022年）度上期（4月～9月）胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の状況について

令和5年（2023年）2月  
北海道胆振総合振興局

## 【概要】

令和4年（2022年）度上期の訪日外国人宿泊者数（延べ数）は3,641人泊（前年度同期比233.2%）で、前年度同期と比較して2,080人泊の増加となりましたが、コロナ前である令和元年（2019年）度同期と比較すると414,129人泊の大幅な減少（令和元年（2019年）度同期比 0.9%）となっております。

令和4年（2022年）度上期は、新千歳空港への国際線の乗り入れは極めて少なかったものの、入国者数上限の段階的な引き上げや添乗員付きのツアー客に限定した外国人観光客の入国許可が、訪日外国人の宿泊数（延べ数）増加の要因と考えられます。

## 【国・地域別の状況】

訪日外国人宿泊者数（延べ数）を国・地域別に見ると、韓国が1,889人泊で最も多く全体の51.9%を占めています。次にアメリカ（276人泊）、中国（196人泊）、台湾（134人泊）、タイ（124人泊）となっています。（資料1）

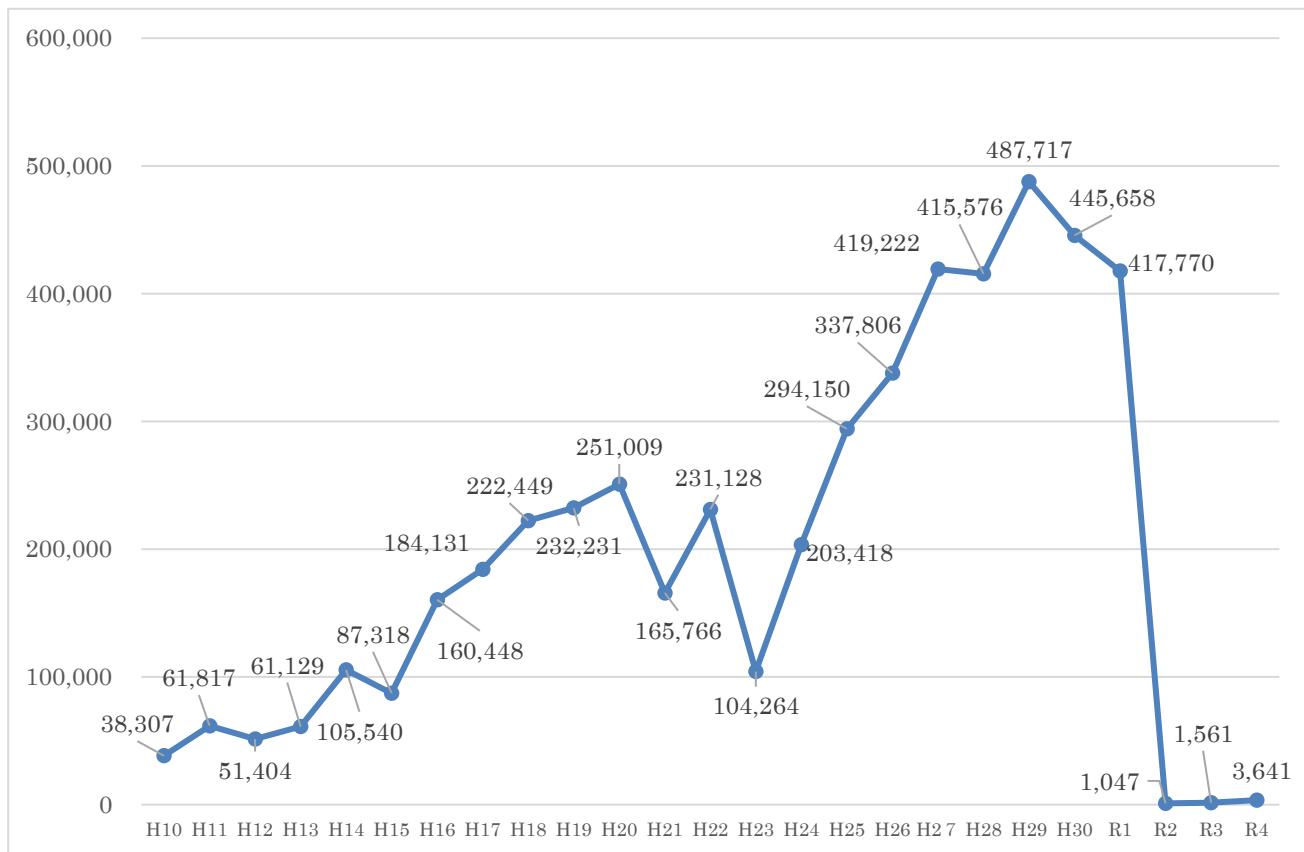
参考として、平成10年（1998年）度からの訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移【参考資料1】と令和元年（2019年）度まで宿泊者数（延べ数）の多かった主な国・地域の宿泊者数（延べ数）の推移を【参考資料2】に掲載しています。

## 【資料1】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）内訳

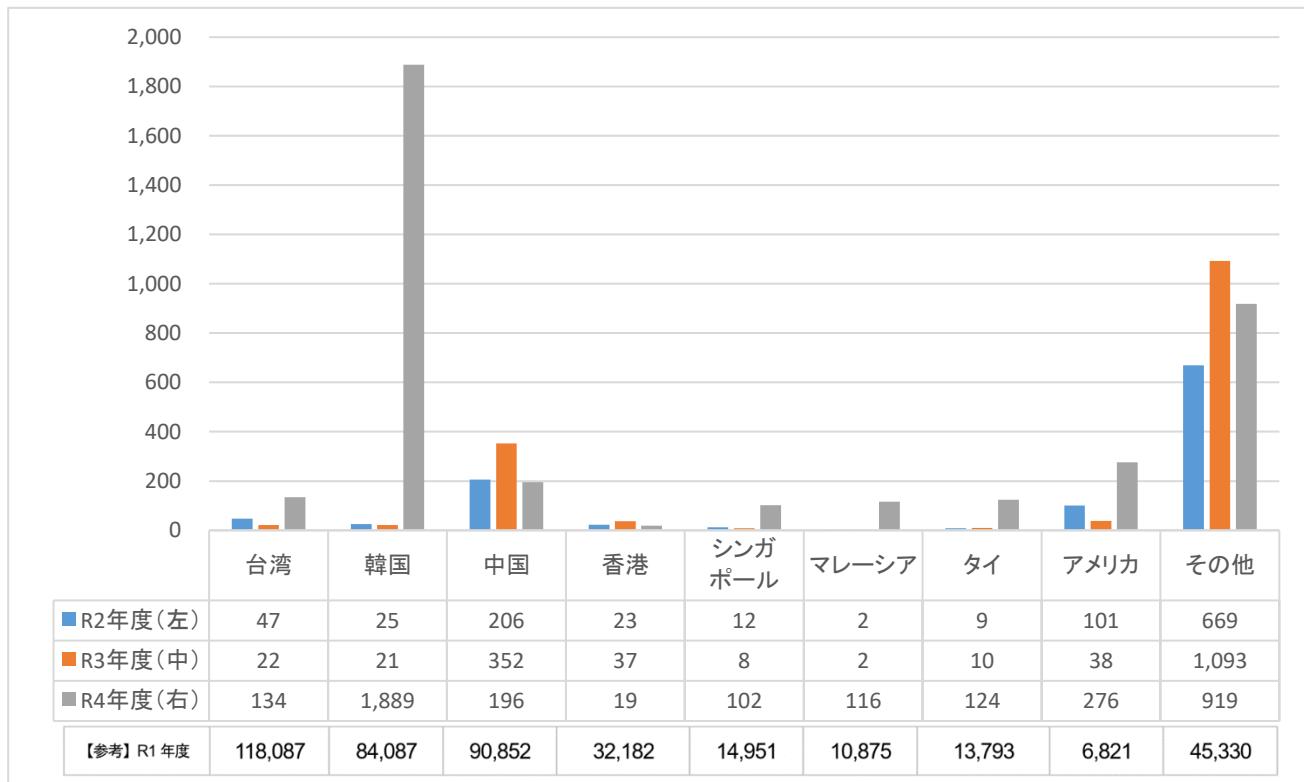
（単位：人泊）

順位	国・地域	上期宿泊者数（延べ数）	前年度同期比		前年度上期 からの増減数	令和元年度（コロナ前）	同期比
			構成比	前年度同期比			
1	韓国	1,889	51.9%	8,995.2%	1868	84,879	2.2%
2	アメリカ	276	7.6%	726.3%	238	6,821	4.0%
3	中国	196	5.4%	55.7%	▲156	90,852	0.2%
4	台湾	134	3.7%	609.1%	112	118,087	0.1%
5	タイ	124	3.4%	1240.0%	114	13,793	0.9%
その他		1,022	28.0%	91.4%	▲96	103,338	1.0%
合計		3,641	100%	233.2%	2,080	417,770	0.9%

【参考資料1】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移（H10年(1998年)度～）（単位：人泊）



【参考資料2】胆振管内訪日外国人宿泊者数（延べ数）の推移（主な国・地域別）（単位：人泊）



※R2年度、R3年度については、宿泊者数（延べ数）が少ないため、グラフには現れておりません